

的射場 敬一 教授 略歴と業績

◆学 歴

- 1975(昭和 50)年 3 月 早稲田大学政治経済学部政治学科卒業
1979(昭和 54)年 3 月 早稲田大学大学院政治学研究科政治学専攻
博士前期課程修了
1985(昭和 60)年 3 月 早稲田大学大学院政治学研究科政治学専攻
博士後期課程単位取得中退

◆職 歴

- 1989(平成 元)年 4 月 国土館大学政経学部専任講師
1992(平成 4)年 4 月 国土館大学政経学部助教授
2000(平成 12)年 4 月 国土館大学政経学部教授

学年担任・学生主任・大学院研究科主任・政治研究所所長などを務める。

◆主要業績

1. 共 著

- 1984 年 3 月 渋谷浩編著『啓蒙政治思想の形成』(成文堂), 第IV章 ハリント
ンの共和主義思想
1987 年 3 月 芹沢功編著『現代に語りかける政治思想史』(昭和堂), 第 10 章 ロック
1989 年 6 月 佐藤正志編著『政治学講義』(早稲田大学出版部), 第VI 政治変
動論
1995 年 5 月 藤原保信・飯島昇藏編著『西洋政治思想史 I』(新評論), 第 15
章 ハリントン
1998 年 8 月 藤原保信・白石正樹・渋谷浩編著『政治思想史講義』(早稲田大
学出版部), 第IV章 近代市民革命の政治思想
1999 年 5 月 佐藤正志・添谷育志編『政治概念のコンテクスト』(早稲田大学
出版部), 第 1 章 立憲主義と共和主義

- 2004年5月 古賀敬太編著『政治概念の歴史的展開 第1巻』（晃洋書房），
平等
- 2008年3月 「ポリスと市民」，『政治理論のパラダイム転換—21世紀の新しい
理論構築にむけて—』（平成16年度—19年度科学研究費補助金・研究成果
報告書基盤研究（A），研究代表者 千葉真（課題番号 16203008））
- 2011年6月 古賀敬太編著『政治概念の歴史的展開 第4巻』（晃洋書房），
市民
- 2013年5月 古賀敬太編著『政治概念の歴史的展開 第6巻』（晃洋書房），
立憲主義
- 2014年2月 岡本仁宏編著『新しい政治主体像を求めて—市民社会・ナショ
ナリズム・グローバリズム—』（法政大学出版局），市民たちの空間—アテナ
イ・デモクラシーの歴史的・制度的考察
- 2014年5月 三浦信行・石見豊・安永勲編著『政治学講義』（成文堂），第3
章 国家と政治権力，第8章 政治体制と政治変動
- 2015年3月 国土館大学政経学部政治学科編『ゼミナールで学ぶ政治行政学—』，
第10章 公共性とは何か

2. 論文

- 1989年9月 「ハリントンの古代イスラエル論(1)」，『政経論叢』（国土館大学
政経学会，平成元年第3号，通巻69号）
- 1991年6月 「ピューリタン革命期における「公」観念の転換」，『政経論叢』
（平成3年第1・2号，通巻75・76号）
- 1993年2月 「ヨーロッパ中世都市，その政治的意義」，『外国語外国文化研究』
第3号（国土館大学外国語外国文化研究会，1993年）
- 1993年5月 「日本の政治力学—頼朝挙兵を軸に—」，『経済研紀要』（国土館
大学政経学部附属経済研究所，平成5年，第5巻1号）
- 1997年12月 「「革命」としての内乱(1)—ハリントンのイギリス史への視座—」，
『政経論叢』（平成9年第4号，通巻102号）

- 1998年3月 「「革命」としての内乱(2)―ハリントンのイギリス史への視座―」,
『政経論叢』(平成10年第1号, 通巻103号)
- 1999年3月 「近代立憲主義の源流―立憲主義とピューリタン革命―」, 『経済
研紀要』(平成11年3月, 第11巻第1号)
- 2003年9月 「平等概念についての歴史的考察」, 『政経論叢』(平成15年第3号,
通巻125号)
- 2005年9月 「中世都市と共和主義」, 『政経論叢』(平成17年第3号, 通巻133号)
- 2008年6月 「ギリシアポリスの形成と市民」, 『政経論叢』(平成20年第2号,
通巻144号)
- 2008年9月 「戦士と食卓―ギリシアポリスと政治の条件―」, 『政経論叢』
(平成20年第3号, 通巻145号)
- 2009年12月 「「シティズンシップ」概念の歴史的考察―古代・中世・近代―」,
『政経論叢』(平成21年第4号, 通巻150号)
- 2010年3月 「古代ローマにおける「市民」と「市民権」」, 『政治研究』創刊号
(国士舘大学政経学部附属政治研究所, 平成22年3月)
- 2011年3月 「共和政ローマとキケロ」, 『政治研究』2号
- 2011年6月 「市民と「政治的なるもの」の起源を求めて―古代アテナイのポ
リスと公共空間」, 『国士舘大学政経学部創設50周年記念論文集』(『政経論
叢』特別記念号)
- 2012年3月 「プリュタネイオンを探して」, 『政経論叢』(通巻159号)
- 2012年3月 「統治の平等から平等な統治へ―古代アテナイにおける法の支配
の確立―」, 『政治研究』3号
- 2012年3月 「アテナイにおける政治主体と政治空間」, 研究代表者岡本仁宏
『「人間, 国民, 市民―市民社会, ナショナリズム, グローバリズムと新しい
政治理論」科研費報告書』
- 2014年3月 「ダーウィンをめぐる三題噺」, 『政治研究』5号
- 2014年12月 「『イリアス』にみるポリス形成期の社会構造―自由と平等の原
風景を求めて―」, 『政経論叢』(平成26年4号, 通巻170号)

- 2015年9月 「プリュタネイオンで聖餐を一祭祀共同体としてのポリスの形成—」,
『政経論叢』(平成27年3号, 通巻130号)
- 2016年3月 「政治闘争と改革—古代アテナイの民主化過程—」, 『政治研究』
7号
- 2016年9月 「平等者たちの行進—アテナイ・デモクラシーと重装歩兵」, 『政
経論叢』(平成28年4号, 通巻170号)
- 2018年2月 「蠃螂の斧—古代ギリシア都市国家の民主化とペルシア戦争
(上)」, 『政治研究』9号
- 2020年2月 「蠃螂の斧—古代ギリシア都市国家の民主化とペルシア戦争
(中)」, 『政治研究』11号
- 2021年2月 「蠃螂の斧—古代ギリシア都市国家の民主化とペルシア戦争
(下)」, 『政治研究』12号
- 2022年3月 「デモクラシーの危機—古代アテナイとペルシア戦争—」, 『政経
論叢』60周年記念号(通巻189号)